

# (1) 地域における情報通信基盤等の環境整備

- i 5Gなどの情報通信基盤の早期整備
- ii デジタル人材の育成・確保
- iii データ活用基盤の整備
- iv 未来技術の活用に向けた社会ニーズの醸成

# (2) 地域のDX推進による地域課題の解決

- i 未来技術の活用による地方創生の推進
- ii 「スーパーシティ」構想の推進
- iii 関係省庁の連携
- iv 農林水産分野での未来技術の活用
- v サービス産業分野等での未来技術の活用
- vi 医療・教育分野での未来技術の活用
- vii 生活分野での未来技術の活用
- viii 交通分野での未来技術の活用
- ix 公共・社会基盤分野での未来技術の活用

## (2) 地域のDX推進による地域課題の解決

### i 未来技術の活用による地方創生の推進

施策名	府省 担当部署名	ページ
未来技術社会実装事業	内閣府地方創生推進事務局都市再生・未来実装班	44
地方創生推進交付金（Society5.0タイプ）	内閣府地方創生推進事務局	46

**施策名：未来技術社会実装事業**

内閣府地方創生推進事務局都市再生・未来実装班  
03-6206-6175 g.mirai.s5m@cao.go.jp

<b>分野</b>	未来技術の活用による地方創生の推進	<b>総合戦略該当箇所</b>	横2-1-(2)-i	<b>予算額</b>	非予算
-----------	-------------------	-----------------	------------	------------	-----

**特徴・ポイント**

- ✓ 未来技術を活用して地域課題の解決を目指す取組を支援。
- ✓ 関連する事業を一つにパッケージ化し、複数の関係省庁を交えた地域実装協議会にて総合的支援。
- ✓ 今後3年間で一部実装、5年間で本格実装（事業化され自走すること）を見込む事業を対象。

**目的**

- AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術や科学技術研究の成果等、最新の知見等を活用し、産業の生産性向上やインバウンド観光への対応、公共交通の維持・改善、住民の健康保持、子育て支援や未来を担う人材の育成等、様々な課題を解決し、地方創生に繋げていくこと。

**概要**

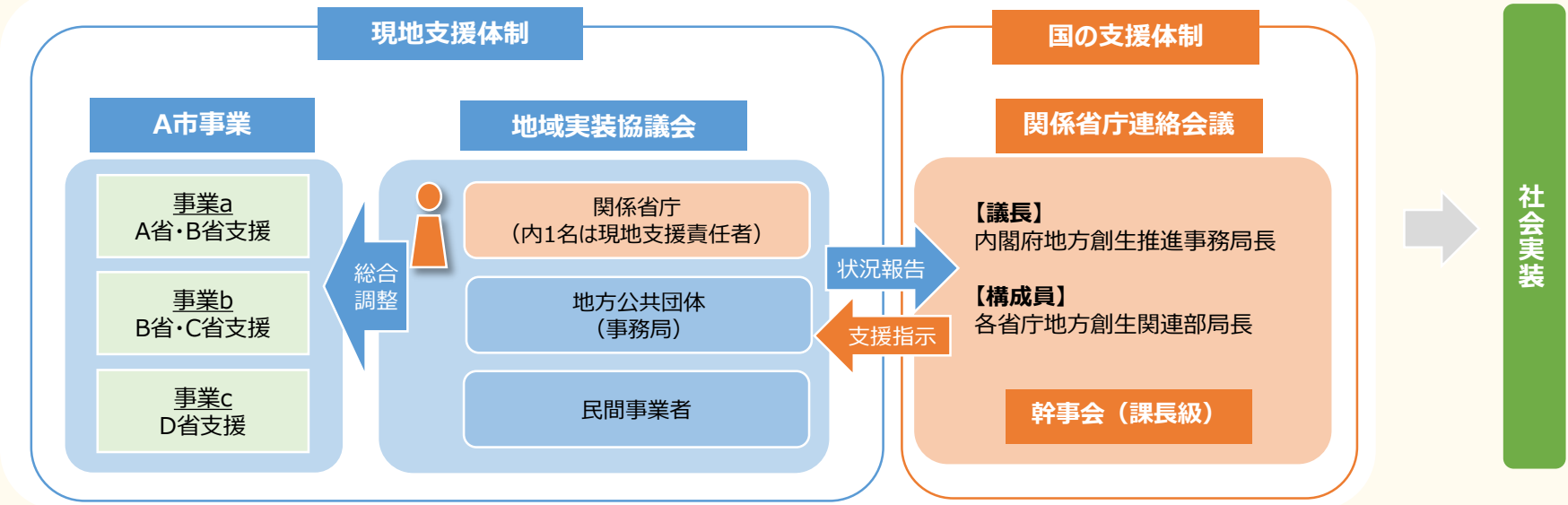
- 未来技術を活用した新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から、革新的で先導性と横展開可能性等に優れた地方公共団体からの提案について、社会実装に向けた関連事業の現地支援体制（地域実装協議会）を構築し、関係府省庁による総合的な支援を行う。

**<期待される効果>**

・関係省庁による総合的な支援を通じた、地域における未来技術の社会実装の実現。

**<対象事業のイメージ>**

詳細



## 活用事例

### 事例① 北海道・岩見沢市・更別村



ロボット農機（無人トラクター）による  
4台協調作業実証試験（岩見沢市）



ドローンセンシング実証実験（更別村）

- ✓ 道内の一次産業従事者が減少・高齢化しており、生産の維持や労働力不足の解消が課題。
- ✓ 生産の省力化や効率化のため、北海道に一定の集積がある農業用機械製造業やIT産業等における未来技術への対応力の強化が必要。
- ✓ 上記課題を解決するため、「ロボット農機（無人トラクター）の遠隔監視による無人走行システム」や「農薬や肥料の散布ソフト（アプリ）とドローン技術」などの社会実装を通じて、一次産業の生産性や付加価値の向上と周辺産業への波及を推進。

### 事例② 愛知県春日井市



AIオンデマンド乗合サービス実証実験



ゆっくり自動運転実証実験

- ✓ 日本3大ニュータウンである「高蔵寺ニュータウン」の高齢化率は約35%と増加傾向（R2.4月時点）。また、坂道や起伏が多い地理的特性により、高齢者等の外出機会の減少が懸念。
- ✓ ニュータウン内の基幹交通である路線バスの運行本数は、ピーク時（H7）と比較し約3/4にまで減少。
- ✓ 上記課題の解決に向け、「地域住民との協働によるラストマイル型ゆっくり自動運転」、「交通事業者との連携によるAIオンデマンド乗合サービス」等の社会実装を通じて、新たなモビリティサービスと既存交通とのベストミックスの構築に向けた取り組みを推進。

# 施策名：地方創生推進交付金（Society5.0タイプ）

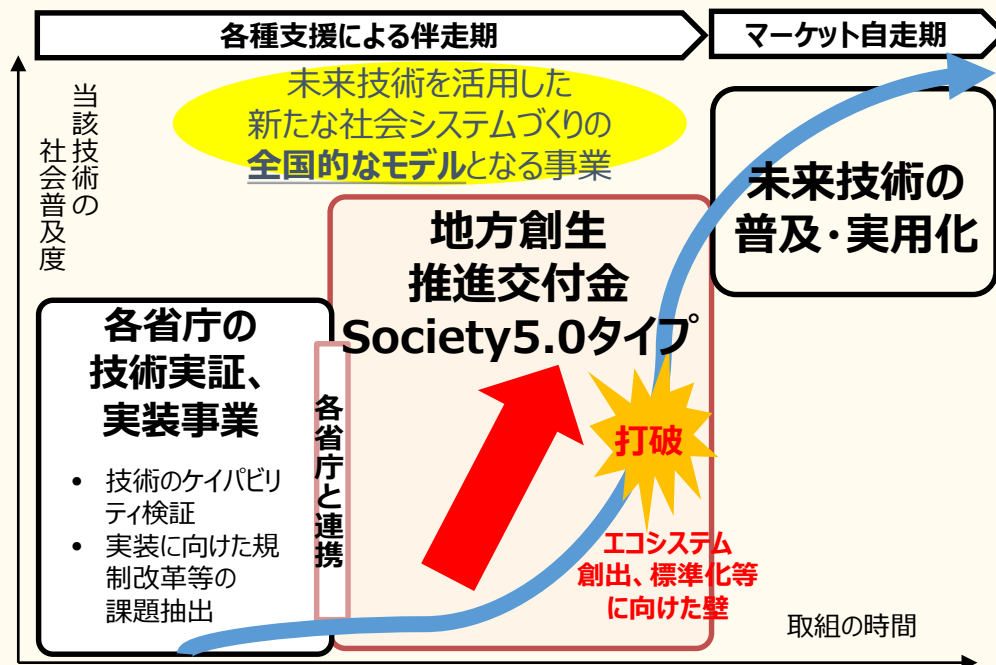
内閣府地方創生推進事務局  
03-6257-3889 mirai.7cs@cas.go.jp

<b>分野</b>	未来技術の活用による地方創生の推進	<b>総合戦略該当箇所</b>	横2-1-(2)-i	<b>予算額</b>	令和3年度当初一般会計 100,000百万円の内数
-----------	-------------------	-----------------	------------	------------	------------------------------

<b>特徴・ポイント</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地域におけるSociety5.0の実現を推進するため、全国的なモデルとなる取組を支援する地方創生推進交付金の類型（地方創生推進交付金は、地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的な事業を支援するもの）</li> <li>✓ 1事業の年度当たり交付上限額（国費）は3.0億円、事業期間は最長5か年度（中長期的な取組の支援が可能）</li> </ul>
----------------	--

<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 未来技術を活用した新たな社会システムづくりのエコシステム創出、標準化等に向けた壁を打破</li> <li>• （全国的なモデルとなる取組を支援することによる）未来技術の普及・実用化</li> </ul> <p>→ 地域におけるSociety5.0 / 地域のDXの実現の推進</p>	<b>概要</b>	<p>事業要件として以下の4項目全てを満たすことが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 国・専門家等の協働PDCAサイクルが存在</li> <li>• 既に一部実証済で、事業開始年度から5か年度以内に本格実装</li> <li>• Society5.0に向けた技術を活用し地域課題を解決、地方創生に寄与</li> <li>• 新たな社会システムづくりにチャレンジ</li> </ul>
-----------	--	-----------	---

## <期待される効果>



		Society5.0タイプ
1事業の年度当たり交付上限額（国費）	都道府県	3.0億円
	市区町村	
事業期間		最長5か年度
新規事業の申請上限件数	都道府県	申請上限件数の「枠外」
	市区町村	

# 地方創生推進交付金Society5.0タイプ採択事業一覧



ドローン



AI



IoT



FinTech



自動運転

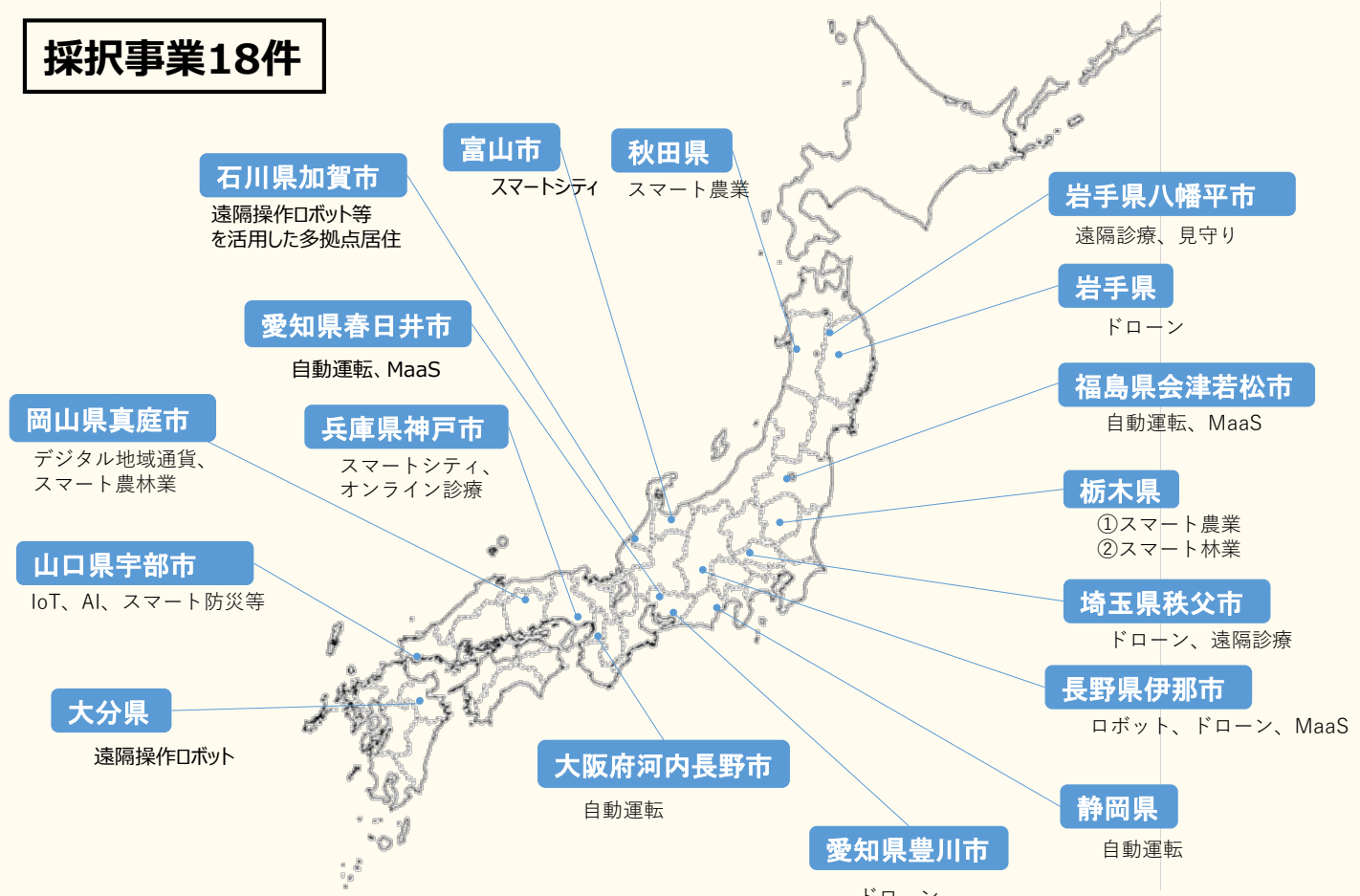
## 例：ドローンによる高齢者向け配送支援

### 埼玉県秩父市（ちちぶし）

送電線上空を飛行ルートとするドローン飛行実証を発展させ、大滝地区（過去に土砂崩れで孤立した地区）にドローンの常設コースを設置し、高齢者向け日用品・医薬品等のドローン配送実証を行う。



## 採択事業18件



## 例：自動運転・MaaS等による住民の移動支援

### 愛知県春日井市(かすがいし)

自宅からバス停までの自動運転、乗り合いタクシーの社会実装や、自動運転バス等基幹交通を検討し、これらの移動手段を一つのアプリ(MaaS)で選択できるようにする。

